

組立施工管理基準 補足資料
(プレート寸法)



2020.11.1

VSL JAPAN 株式会社

目次

組立施工管理基準 補足資料

1. 矩形プレート	
1.1 標準矩形プレートの寸法(横拘束用途として使用可)	1
1.2 横拘束用途で重ね継手部に適用する場合のプレート寸法	1
1.3 矩形プレートの最小寸法	2
2. 円形プレート	
2.1 円形プレート寸法	2
2.2 軸方向に適用する場合のプレート寸法	2

組立管理基準 補足資料

(プレート寸法)

1. 矩形プレート

1.1 標準矩形プレートの寸法【SD295、SD345 適用】(横拘束用途として使用可) (単位:mm)

■: 標準プレート

せん断補強鉄筋呼び径			D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51	
標準プレート適応範囲			D13-D38	D13-D38	D13-D41	D13-D38	D13-D41	D13-D38	D13-D32	-	-	-	-	
プレート寸法	標準プレート寸法	厚さ	9	9	12	16	16	19	19	22	25	25	32	
		短辺	40	40	45	50	60	65	70	80	85	95	120	
		長辺	70	70	80	80	90	90	90	-	-	-	-	
	プレート寸法	長辺	70-80	70-85	80-85	80-90	90-100	90-105	90-105	80-115	85-120	90-125	110-145	
掛けられる側の鉄筋径	太径鉄筋の使用時	D13	長辺	70	70	80	80	90	90	90	80	85	90	110
		D16	長辺	70	70	80	80	90	90	90	85	90	95	115
		D19	長辺	70	70	80	80	90	90	90	85	90	100	115
		D22	長辺	70	70	80	80	90	90	90	90	95	100	120
		D25	長辺	70	70	80	80	90	90	90	90	95	105	120
		D29	長辺	70	70	80	80	90	90	90	95	100	105	125
		D32	長辺	70	70	80	80	90	90	90	100	100	110	125
		D35	長辺	70	70	80	80	90	90	95	100	105	110	130
		D38	長辺	70	70	80	80	90	90	95	105	105	115	130
		D41	長辺	75	75	80	85	90	95	100	105	110	115	135
D51	長辺	80	85	85	90	100	105	105	115	120	125	145		

※材質が SD295、SD345 以外、コンクリート強度が 30N/mm²以上の場合は審査証明の詳細による。

1.2 横拘束用途で重ね継手部に適用する場合のプレート寸法

【重ね継手部の鉄筋2本を同時に拘束することができるプレート寸法を採用】 (単位:mm)

■: 標準プレート

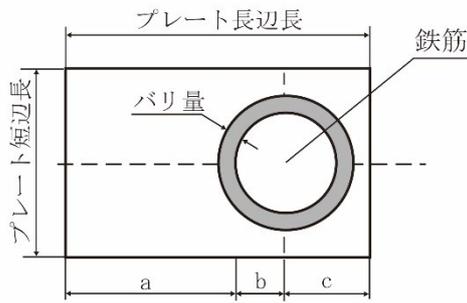
せん断補強鉄筋呼び径			D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51
標準プレート適応範囲			D13-D16	D13-D16	D13-D19	D13-D16	D13-D16	D13-D16	D13	-	-	-	-
プレート寸法	標準プレート寸法	厚さ	9	9	12	16	16	19	19	22	25	25	32
		短辺	40	40	45	50	60	65	70	80	85	95	120
		長辺	70	70	80	80	90	90	90	-	-	-	-
	プレート寸法	長辺	70-105	70-110	80-115	80-120	90-125	90-130	90-135	95-140	100-145	105-150	125-170
掛けられる側の部位	D13 ラップ部	長辺	70	70	80	80	90	90	90	95	100	105	125
	D16 ラップ部	長辺	70	70	80	80	90	90	95	100	105	115	130
	D19 ラップ部	長辺	75	80	80	85	95	100	100	110	115	120	140
	D22 ラップ部	長辺	80	85	90	90	100	105	110	115	120	125	145
	D25 ラップ部	長辺	90	90	95	100	105	110	115	120	125	130	150
	D29 ラップ部	長辺	95	95	100	105	110	115	120	125	130	140	155
	D32 ラップ部	長辺	100	105	110	110	120	125	130	135	140	145	165
	D35 ラップ部	長辺	105	110	115	120	125	130	135	140	145	150	170

■ プレート側とフック側を逆にして、フック側を継手部等に掛けられる場合は標準プレートを採用。

■ 鉄筋径 D38～D51 で、機械式継手部に Head-bar を使用する場合は別途相談のこと。

■ 材質が SD295、SD345 以外、コンクリート強度が 30N/mm²以上の場合は審査証明の詳細による。

1.3 矩形プレートの最小寸法



プレート寸法と鉄筋径の関係

- a: (掛けられる鉄筋の径+両節高さ) × 3/4 + バリ量 10 mm
- b: (鉄筋径 + 両節高さ) / 2
- c: プレート短辺長 / 2

■施工上の必要により、1.1 標準矩形プレート寸法に代わり、上記の計算式に基づいて算出した最小寸法のプレートが採用可能。但し、製作期間・費用については要相談。

2. 円形プレート

2.1 円形プレート寸法表 (せん断補強用途のみ使用可)

(単位: mm)

呼び名	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41	D51	プレート材質	
厚さ(mm)	SD345	9	9	12	16	16	19	19	22	25	25	32	S35C, S45C
	SD390	12	12	16	19	19	22	22	25	32	32	38	S35C, S45C
最小径(mm)	32	40	50	55	60	75	80	90	95	105	130		

■円形プレートの使用条件

①横拘束用途として使用不可。

②掛かりの違いがせん断補強効果に与える影響確認実験の結果から、半円形フックと同等のせん断耐力が得られる鉄筋の呼び径の差を3ランクまでに制限。

※例えば、D16 で掛けられる鉄筋径は D25 まで

2.2 軸方向鉄筋に適用する場合のプレート最小寸法

(単位: mm)

呼び名	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	プレート形状 種類の記号
必要最小径(mm)	32	40	50	55	60	75	80	円形
プレート 最小厚さ (mm)	SD295	—	9	12	16	16	19	S35C・S45C
	SD345	9	9	12	16	16	19	S35C・S45C
	SD390	12	12	16	19	19	22	S45C
	SD490	—	—	—	—	20	24	26

■用途: 杭・柱・橋脚等の軸方向鉄筋のフーチング等のようなマッシブなコンクリートへの定着